



～ episode 36 ～

大山町長 竹口 大紀

当コラムを誰に向けて書いているのか、質問されたことがあります。この町報を読んでいるのは、一体誰なのでしょう。

確かに多くの読者は町民ですが、この広報誌は、関係機関やだいせんファンクラブ会員のみなさんなど、町民以外にも配付されています。WEBサイトにも載せているので、世界中の人が読んでいるのかもしれない。

また、例えば町民と一口に言っても、子どもからご年配の方までさまざまです。職業も人それぞれ。したがって、全ての対象者に向けてコラムを書くことは、とても難しいことだと感じています。



▲2年ぶりに行われた「秋のご縁日」

一方で、広報という性質上、より広い範囲の読者に響く内容にしたい。そこで、いつもコラムを書く際に意識しているのは、中学生にも理解できる内容かどうかということです。難しい字句があれば他の表現に修正しながらも、内容自体は簡易になりすぎないように気をつけています。実際に中学生が読者なのかはともかく、読み手をイメージして書くことで、より多くの方に読んでもらえるコラムになるのではないかと思っています。

大山チャンネル113

[新番組放送時間]
(6:00/9:00/12:00/15:00/17:00/
18:00/20:00/21:00/24:00)

(12/1～、12/11～、12/21～ 新番組スタート)

超住民参加型テレビ大山チャンネル。町民から寄せられた情報を元に、大山町のニュース、地域の出来事、暮らしに役立つ情報を、地域の方々とともにお伝えしていきます。大山チャンネルならではの地域密着の特集企画もお楽しみに。

<注目企画>

◆12/11～ 「大山100年LIFEシリーズ第3弾 長く幸せに生きるために」

いくつになっても健康で幸せに生きるにはどんなことが大切なのか？

世界の研究者たちが注目する『日本一長寿の村・沖縄県大宜味村』を、番組スタッフが徹底取材。医療や交通

【問い合わせ・番組への情報提供】

株式会社アマゾンラテルナ鳥取大山オフィス 担当：貝本・白石

大山町富長159-1 BIKAI 2F ☎0859-54-3785 daisenchannel@gmail.com

の便が恵まれているとはいえない地域で、なぜ、100歳を越えても多くの人たちが元気に暮らしているのか。そこに隠された秘密とは？

住み慣れた地域にいつまでも住み続けるためのヒントを、さまざまな町民たちと考えていきます。



◆12/21～ 大山町 今年もいろいろありましたSP

年末恒例企画。コロナに苦しめられた2021年、新たに取材した映像などを元に、大山町のこの一年を振り返ります。さまざまな分野で、地域のために活躍した町民たちが続々登場。そこから「大山町の2022年」が見えてくるかもしれません！